

教科	科目	対象学年学科	単位数	教科書	使用教材
保健体育	体育	1年普通科 1年国際科 1年農業環境科 1年福祉科	3単位	現代高等保健体育 (大修館)	

到達目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
------	---

	①知識及び技能	②思考・判断・表現等	③学びに向かう力、人間性等
評価の観点	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

学習の評価	①知識及び技能を実技テストで、②思考・判断・表現力等、③学びに向かう力、人間性等を加味し総合的に評価する。
-------	---

単元	学習内容	到達目標
体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・集団行動 ・スポーツの歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育のねらいを理解する。 ・整然と集団行動ができる。 ・スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴を理解する。
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動 ・徒手体操 ・新体力テスト（スポーツテスト） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体に関心を持ち、体ほぐしをしたり、体力を高めたりする。また、互いに協力して様々な運動を実践する。 ・徒手体操を集団で正確に雄大に実施する。 ・スポーツテストを行い自己の能力を知り、さらに能力を高めるよう工夫する。
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー（男） ・バレーボール ・ソフトボール（女） ・バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力やチームの課題に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようになる。 ・チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようになる。 ・勝敗に対して公正な態度がとれるようになる。また、健康・安全に留意して活動ができるようになる。
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて、支持や回転の技を習得する。また、お互い補助などを行い様々な感覚を身に付ける。
選択 武道・ ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・剣道 ・創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて運動の技能を高め、相手の動きに応じた攻防を展開して練習や試合ができるようになる。 ・伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、公正な態度と安全に留意して練習や試合ができるようになる。 ・グループの課題や自己の能力に応じた課題を解決し、計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができようになる。 ・感情を込めたり楽しく踊ったりし、互いの良さを認め合い、協力して練習や交流・発表ができるようになる。

